

医師 業務負担軽減の取り組み

- ◆ 診療時間内での受診にご協力をお願いいたします。(外来受付時間 【平日】 8:30～11:00、13:00～16:30)
- ◆ 主治医からの病状説明および検査・手術に関する説明は、原則として【平日】9:00～12:00、13:30～17:00の時間帯に限らせていただきます。 ※救急の場合はその限りではありません。

【 2026年度 各職種へのタスクシフト・タスクシェアの取り組み目標 】

● 看護師

- 皮膚排泄ケア認定看護師教育課程を修了する看護師が業務に復帰し次第、新たに可能となった業務について、『看護師特定行為業務規程』を改訂しタスクシフト・シェアする。
- 今後のタスクシフトシェア計画
 - 救急外来において、医師が予め患者の範囲を示して、事前の指示や取り決めたプロトコールに基づいて、医学的検査のための血液検査の検査オーダーの入力、採血・検査の実施。
 - 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの抜去(小児・新生児を含む)。
 - 皮下埋め込み式CVポートの穿刺。
 - 処置行為(鶏眼処置・抜糸)。

● 医師事務作業補助者

医師の具体的指示の下、医師が最終的に確認し承認することを条件に事務的業務を代行する。

- 外来診療に陪席し、問診入力、検査予約、患者対応などの診療補助を行い、待ち時間短縮に努める。
- サマリーや定期処方、入院指示代行入力など、入院に関する業務を補助する。
- 診療情報提供書、返書の下書き。
- 専門性を深化させ、診断書、証明書、意見書などの医療関連文書作成における業務効率化を図る。
- NCD登録支援(当院外科で行った手術と治療に関する情報の登録)。
- JOANR登録支援(当院整形外科で行った手術と治療に関する情報の登録)。
- 地域連携部と連携し、くまもとメディカルネットワークでの文章や画像データの送受信業務を行う。
- 患者サポートセンターと連携し、外来予約業務を行う。

● 薬剤師

- 代行入力の拡大(退院処方など)によるタスクシフトシェアの推進。
- タスクシフトシェアを推進するための薬剤師の継続的雇用。
- ロング勤務対応曜日の拡大検討。
- ポリファーマシー患者における減薬に向けた薬学的介入。

● 臨床検査技師

- 救急車受け入れにおける時間外検査の対応。4月より宿直体制としており、時間外検査がより柔軟に対応できるように体制を整えていく。技師が常駐することで迅速かつ正確な検査結果を提供したい。
- 検査依頼および依頼変更の代行入力。

● 診療放射線技師

- 撮影部位の確認、全患者の検査オーダーの代行入力等を行い医師の負担軽減を図る。
- CTC(大腸CT)における送気カテーテル挿入(実施中)。

● 臨床工学技士

- 麻酔補助業務。
 - 全身麻酔装置の操作。
- 手術室での静脈路確保・間接介助。
 - 人工呼吸器使用時の入院指示代行入力。
- 高気圧酸素治療のオーダー代行入力及び関連検査(心電図・胸写)の代行入力。
- 温熱療法、人工透析、持続緩徐式血液透析濾過、GCAP、CARTなど各治療オーダーの代行入力。
- 外科手術で使用する際の内視鏡装置のオーダー代行入力。
- 内視鏡室における治療の直接介助を継続。

● 管理栄養士

- 病棟担当制の栄養管理により、医師の負担軽減に努める。

● 理学療法士・作業療法士

- 各種保険、手帳申請書書類の身体計測を行い、申請書類作成の補助を行う。
- リハビリテーション評価を行い、診断確定や書類作成のため補助を行う。

● 言語聴覚士

- 各種保険、手帳申請書書類の身体計測を行い、申請書類作成の補助を行う。
- リハビリテーション評価を行い、診断確定や書類作成のため補助を行う。
- 患者の嚥下状態に応じた食物形態等の選択を行い、指示入力の簡略化を図り医師の負担軽減を図る。



社会医療法人 潤心会

熊本セントラル病院